

『全介助』の介護技術

日程

平成30年7月25日(水) (10:00~16:00)

対象者

介護福祉医療関係者及び興味のある方 推奨職員:(初級~中級・介護職)

料金

会員(法人・個人) 8,000円 一般 10,000円

会場

ウィング横浜(横浜市港南区上大岡西1-6-1 オフィスタワー内)
京浜急行・横浜市営地下鉄「上大岡駅」徒歩3分

《カリキュラム》

- 全介助介護の基本的な考え方
- 利用者の身体の状態、動作評価ポイント
- 起居移動・ポジショニング実技
- 腰痛対策について

あなたのポジショニングは、

「拘縮予防」や「褥瘡予防」

になっていますか？

自分の技術をチェックしながら学びます。

《実践》

- ◎日常生活支援のための起居動作、移乗介助
- ◎拘縮予防や褥瘡を予防するポジショニング

全介助とは、日常生活活動(ADL)の食事、排泄、入浴、衣類の着脱、起居動作などの行為を全て介護者が行う状態のことをいいます。「全介助」では、要介護者などの意思を尊重しつつ、日常生活支援や自立支援を目標とした介助を行うことが重要です。

本研修では、**全介助が必要な利用者を対象**とした動作評価の方法や観察ポイントを学び、ボディメカニクスを活用した起居移動の技術やポジショニングについて、**実技指導を受けながら、自分の技術の悪いところをチェックして、改善を目指していただきます**

【講師】

みんなの訪問看護リハビリテーション

中村 元樹 (作業療法士・介護支援専門員)



都内専門学校を卒業後、介護老人保健施設港南あおぞらに勤務。港南あおぞら勤務時より、拘縮・褥瘡対策の実務に関わり、中央法規出版の「潜在力を引き出す介助」や「写真で学ぶ拘縮予防・改善のための介護」の内容を実践。一般社団法人日本介護技術協会の認定自律介護技術インストラクターとしても技術普及にも関わる。また、翔泳社出版の「現場で使える ケアマネのリハビリ知識便利帖」に一部執筆に関わる。現在、みんなの訪問看護リハビリテーションに勤務し、在宅と地域のリハビリテーションに関わる。外部の活動として、神奈川県作業療法士会制度対策部福祉用具対策班として関わり、福祉用具の普及や情報提供に関わっている。

法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。		
事業所名			
会員種別	() 会員	() 個人会員	() 一般
個人会員番号			

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行
FAX:045-671-0295
TEL:045-210-0788
 〒231-0023横浜市中央区山下町23 日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉 〒 _____ (自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所)		
	〈mail〉 _____ @ _____		
	〈電話〉 _____ - _____	〈ファックス〉 _____ - _____	
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④ グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係() ⑩ その他のサービス()		

＜参加者名簿＞

お申込合計人数 (名)

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥10,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥10,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥10,000)
連絡事項					